

“射和地区まちづくり協議会” 総会を開催！ 「まちづくり計画書」を承認



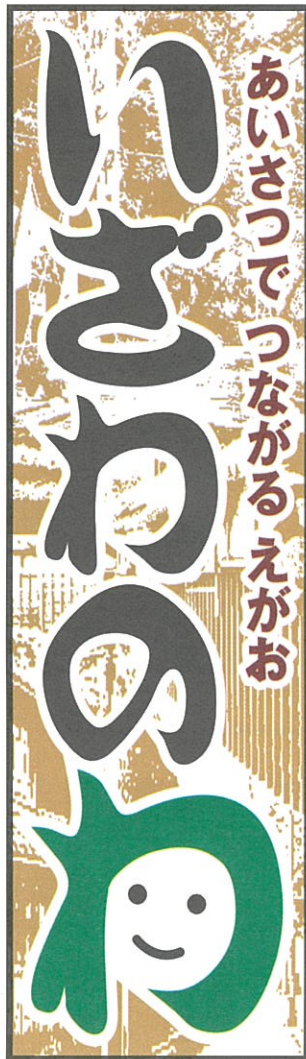
平成27年度「射和地区まちづくり協議会」総会が、来賓として山中市長をお迎えし、去る5月29日開催されました。平成26年度事業報告、同決算報告について、平成27年度事業計画（案）、同収支予算（案）、まちづくり計画書（案）等について審



議し、無事承認されました。

「まちづくり計画書」は、今後の中長期的な視点から、地域の将来ビジョンや地域の課題を共有し、まちづくりの基本方向を示したものです。

その内容については、伝統文化と自然環境に恵まれた町「いざわ」を目標として、こどもからお年寄りまで、安心して生き生きと元気に暮らせる町を目指し、地域住民の力でその良さを、次の世代に引き継いでいくこととしていきます。そして、そのもととなるまちづく



第5号
2015年10月1日
発行
射和地区協議会
まちづくりセンター
和歌山県和歌山市
射和地区協議会
区区内
協議会
1-1
射和
まち
松阪
市民
TEL 0598-29-2002

頃から盛んになりました。2基の神輿、沢山の太鼓、小太鼓は古くを残り、伊佐神社の神事、また地域の伝統行事として受け継がれてきています。昨年この祇園祭を後世に残していこうと「射和祇園祭保存会」（河合忠雄会長）が発足し、体制づくりがなされました。



射和の祇園祭は、今年も7月に盛大に開催されました。同祭は射和軽粉（かるこ）で成功した射和の豪商（富山家、竹川家、國分家等）が、江戸、京都に進出し、京都の祇園祭などを取り入れて、江戸時代の元禄年間（1688～1704）

ろ、その歴史的価値が認められ約600万円が認められました。同会では、その資金をDVDの製作やポスター、チラシの作成にあて、まつりを後世に伝え、また地域の

活用される予定です。今後、射和小学校や公民館、市役所、図書館等に配られるほか、PRにも活用される予定です。

りの思いを、「自然環境にやさしい町」、「笑顔あふれる町」、「安心安全の町」、「災害に強い町」、「歴史

史文化の町」の5つの柱でまとめられています。「射和地区」を住みよいまちにするために、皆様の一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

「まちづくり計画書」については、各町へ回覧用として必要部数を配布してございます。ご覧下さい。

射和祇園まつり

（三重県指定無形民俗文化財）

射和地区まちづくり協議会 役員等名簿

役職名	氏名
○役員	
会長	近藤 安博
副会長	表賀 信弘
副会長	村賀 俊二
事務局長	三井 征一
会計	鈴木 潔
監事	堀内 将美
監事	油谷 和
顧問	大平 勇
○地域振興部会	
部会長	大西 明憲
副部会長	西村 篤史
○健康福祉部会	
部会長	山上 勝子
副部会長	三森 生
○環境・安全防災部会	
部会長	中出 実一
副部会長	磯田 康
○教育文化部会	
部会長	末良 学
副部会長	森 正治

主な行事

月	行事内容
10月	●歩こう会 (10/10) ●生きがい学級「松浦武四郎と竹川竹斎」(10/15) ●公民館文化祭「作品展示と芸能大会」(10/25)
11月	●ふれあい配食サービス (11/6) ●ビーチボールバレー大会 (11/15) ●生きがい学級「塩分と高血圧について」(11/19) ●市民懇談会 (11/27) ●講演会「健康な体づくりを目指す」健康福祉部会 (11/30)
12月	●ふれあい訪問 (未定)
平成28年1月	●地域総合防災訓練 (1/16)
2月	●公民館まつり (公民館連絡協議会主催) ●芸能発表会 (2/6) ●作品展示会 (2/19～2/21)
3月	●ふれあい配食サービス (未定) ●第11回「松阪シティーマラソン」(3/13)

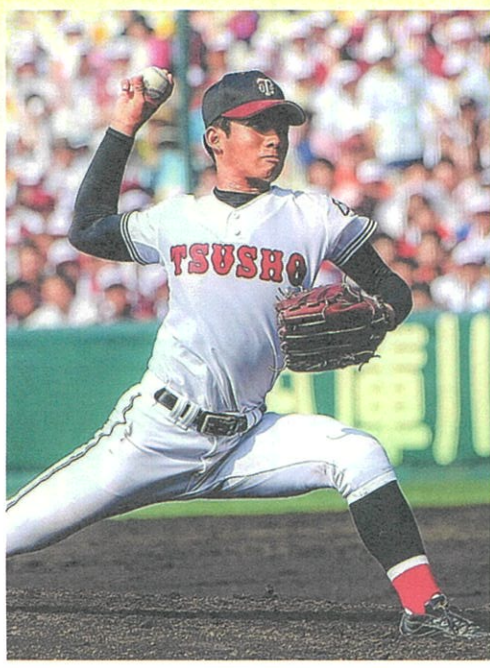
イオン幸せの ご協力をお願いします!
黄色いレシートキャンペーン
毎月11日は黄色いレシートの日!

「マックスバリュ多気店」で、毎月11日にお買物をしていただきますと、通常の白いレシートではなく、黄色いレシートが発行されます。この黄色いレシートを店舗内に設置された「射和地区まちづくり協議会」専用の投函箱に入れていただきますと、買物額の1%が協議会に商品で還元されます。射和地区まちづくり協議会では、会議用のお茶とか、ゴミ袋（松阪市指定）に還元してもらって、利用させていただいています。どうぞ皆様のご協力をお願いします。

第97回 全国高校野球選手権大会

津商業高校 坂倉投手 大活躍!

(御麻生菌町在住)



第97回全国高校野球選手権大会は、津商業高校の大躍進で大変盛り上がりしました。同校投手坂倉君は、地元御麻生菌町上区在住で、終始エースの大活躍で、三重県大会で初優勝、余勢を駆って全国大会の初戦では名将(甲子園通算63勝、高嶋監督)率いる強豪の和歌山県代表、智弁和歌山高校を大差で破りました。

2回戦では、京都府代表の鳥羽高校と対戦し、惜しくも4対2で敗れましたが、引き締まった好ゲームでした。郷土代表の坂倉君の活躍を地元の誇りとし、今後の活躍を期待しましょう!なお、この大会には、全国3,906校が参加し、甲子園出場は、そのうちの49校でした。

◇激戦・活躍のあと

〔三重県予選〕		
○1回戦	7-0	津工業高校
○2回戦	7-0	木本高校(八回コールド)
○3回戦	10-0	尾鷲高校(六回コールド、ノーヒットノーラン)
○準々決勝	8-5	松阪商業高校
○準決勝	4-0	四日市工業高校
○決勝	8-6	いなべ総合学園
〔全国大会〕		
○1回戦	9-4	智弁和歌山高校(和歌山県代表)
●2回戦	2-4	鳥羽高校(京都府代表)

地域振興部会

部会長 大西明憲

○3R活動(ゴミを元から減らす・再利用して繰り返し使う・資源として再利用する)とエコライフの推進

ゴミの分別について住民の理解と意識の向上↓市のゴミ処理場を見学し自治会の協力を得ながら、意識の向上と啓発活動を行う。

○農作物等の産地消について

フリーマーケットの実施。地域住民による農作物の販売を行う。場所、回数、時期等は次回部会等で検討する。



健康福祉部会

部会長 山上勝子

○独居老人への声掛け

日頃から、民生委員、新聞配達、隣近所等の人が声掛けできる体制づくり。

○認知症予防等の活動と支援ネットワークの構築

「独居老人への声掛け、認知症予防対策」

H27・10・22(木)午後1時30分

於 地区市民センター2階大会議室

○親子ラジオ体操の推進など、健康増進活動

「健康な体づくりを目指す」

H27・11・30(月)午後2時

於 地区市民センター2階大会議室

「健康結果の見方」(グループワーク)

H28・1・20(水)午後1時30分

於 地区市民センター2階大会議室

○緊急連絡体制の整備

安否確認、家族連絡、既往症の把握等。

○健康づくりのための講演会

「市政バス教室の推進」

「市政バス教室」施設見学



各部会の主な活動状況

去る7月3日、各部会の合同会議が開催され、「平成27年度予算」、「まちづくり計画書」を基に、今後の活動計画等について、熱心に話し合いが行われました。

その主なものは、次のとおりです。



環境・安全防災部会

部会長 中出実

○地域をあげての防災訓練の実施

目的 小学校と地域が合同して防災訓練を行うことにより、学校と地域の連携、強化と防災意識の向上を図る。

日 時 平成28年1月16日(土)

場 所 小学校土曜事業に合わせて行う。射和小学校運動場

参加者 地域住民、射和小学校生徒及び保護者

内 容 地震体験、消火訓練、AED体験、はしご車による救出訓練、ガラス飛散体験、非常時準備品の展示等々

○文化祭におけるパネル展示

射和小学校文化祭(H27・10・25)時に、環境啓発に関するパネル展示を行い、啓蒙啓発を図る。

於 射和小学校2F

射和地区まちづくり協議会コーナー

内 容 下水道・河川の浄化活動、省資源化活動、ゴミ処理の適正化等。また、文化祭等でパネル展示やアンケート調査を行うなど啓蒙啓発に努める。

○防犯灯の設置推進



教育文化部会

部会長 末良学

○公民館活動を中心に、諸事業を積極的に推進する。

地区体育祭、歩こう会、ビーチボールバレー大会、公民館文化祭等々の諸事業。各種趣味クラブ(24クラブ)活動の充実。

○地域の歴史文化の発掘

これまでも、射和郷土史研究会における「ふるさと歴史散策」「ふるさとのでら」或いは、サークル活動等で各地域の歴史調査研究が行われてきているが、それらを参考として埋もれている資料の収集等を行い、さらなる、歴史文化の研究につなげていく。



編集後記

今年の夏は、例年にも増して暑く、天候不順に悩まされた気がします。

そのような夏でしたが、「第97回全国高校野球選手権大会」では、津商業高校が三重県代表として夢の甲子園初出場を果たし、初戦で強豪智弁和歌山高校を破るという大殊勲を果たしました。惜しくも二回戦で、京都府代表の鳥羽高校に惜敗しましたが、同校のエースはなんと地元御麻生菌町(上区)在住の坂倉誠人君でした。地域の皆さんの間で、一時その話題で持ちきりとなりました。

小学生、中学生の皆さんには、学力向上が叫ばれる折「やれば出来る!」「努力すれば報われる!」という勇気を与え、またこの度、「まちづくり計画」(地域計画)も出来上がり、活気あふれる元気なまちづくりのスタートに、「誠」に明るい話題を提供していただきました。坂倉君の健闘を大いに称え、今後の糧にさせていただきます。

一 広報紙へのご意見をください

射和地区まちづくり協議会広報紙「いざわのわ」は、毎年度2〜3回程度(前期、後期、臨時号)発行しています。地域の皆さんに親しんでいただく、より身近な情報をお届けしたいと思っています。紙面の内容・記事等についてご意見・ご感想をお聞かせください。

